

# DVに悩んでいませんか?

配偶者や交際相手からの暴力に悩んでいませんか?

内閣府の「男女間における暴力に関する調査報告書」(平成24年4月)によると

- 女性の約3人に1人は配偶者から被害を受けたことがあり、約10人に1人は何度も受けている
- 被害を受けた女性の約4割はどこにも相談していないという調査結果が出ています。

DVは重大な人権侵害です。ひとりで悩まずに下記の相談機関に相談して下さい。

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●女性問題相談室</li> <li>●男女共同参画センターあすなら相談室 (月・火・水・金・土) ☎0742-81-3102</li> <li>●西部会館相談室 (月・水) ☎0742-46-3978</li> <li>●北部会館相談室 (木) ☎0742-70-2070</li> </ul> | <p>全て10時~12時、13時~16時<br/>※祝日はお休みです。</p>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●奈良県女性センター<br/>火~金 9時半~18時、土 9時半~20時、<br/>日・祝 9時半~17時<br/>☎0742-22-1240</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●女性のための「全国共通DVホットライン」<br/>月~金 10時~15時<br/>☎0120-956-080</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●奈良県中央こども家庭相談センター<br/>月~金 9時~20時、但し面接相談は9時~16時<br/>☎0742-22-4083</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●女性の人権ホットライン<br/>月~金 8時半~17時15分<br/>☎0570-070-810</li> </ul>       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●「女性への暴力」ホットライン奈良<br/>第2・第4月 10時~16時<br/>☎0745-75-3888</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●DV相談ナビ<br/>☎0570-0-55210</li> </ul>                               |

女性問題相談室では女性に関わるあらゆる悩みについて相談ができます。

## 相談室 だより

公的な相談室というと少々敷居が高く感じられ、“そこでいったい何が行われているの?” “何をしてくれるところなの?” “私の悩みは当てはまるのかしら?”と思われる方もいらっしゃるかもしれません。

この相談室で行っていることは、いろいろありますが、その内の1つに「あなたの心の成長を応援する、サポートする」があります。

応援ですので、指示や一方的なアドバイスはしませんが、“今の状況や現実はこうだけれども、私は、本当はどうしたいのか”を発見し、いつかその“したい”を実行できるあなたになるよう最大限のサポートをしています。置かれている現実をしっかり把握した上であなたの希望、方向性を探っていきましょう。

私たちは、自分のことだから、自分が一番知っていると思いがちですが、意外に知っているようで知らない“あなた自身”を一緒に発見していきましょう。

## 奈良市男女共同参画センター



〒630-8245  
奈良県奈良市西之阪町12番地  
TEL 0742-81-3100  
FAX 0742-25-0600  
E-mail danjokyoudou@city.nara.lg.jp



あすなら公式アカウント  
「@nara\_c\_asunara」

Twitterでも  
つぶやいています!  
フォローは  
こちらから

## 男女共同参画情報誌

トピックス

- “IKUMEN HANDBOOK for nara papa”を作成しました!
- シンポジウム“イマドキ家族の子育て”を開催しました!

# わ おん 和音・なごら

vol. 29

2014.3



## “IKUMEN HANDBOOK for nara papa” を作成しました!

●パパの子育て応援!!

### ◆作成の経緯

奈良市では、女性の活躍推進、そして、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進の観点から、「イクメン」の啓発に力を入れてきました。しかし、母子手帳が配布される女性と違って、赤ちゃんや育児に関する情報に触れる機会の少ない男性にとっては、なかなか何をすればよいのかわかりにくいという実態があり、男性向けにわかりやすく情報を発信する必要がありました。そこで、保育園、幼稚園の保護者や子育てスポットの利用者等、約1000人にアンケート調査を行い、パパが知っておきたい育児の基本的な情報や先輩パピママからのアドバイスを男性目線で一冊にまとめ、「パパ向け育児ハンドブック」として母子手帳配布時に配布することにしました。「パパ専用」の冊子を配布することで、男性が育児をより身近に感じてもらえればと思っています。

### ◆“IKUMEN HANDBOOK for nara papa”の概要

妻が妊娠してから出産まで、出産から子どもが1歳になるまで、子どもが1歳になってから6歳になるまでにパパができることをそれぞれイラストつきでわかりやすく解説しています。また、不慮の事故から子どもを守るために注意しておきたいことや奈良市の子育て応援事業、親子で参加できるイベントの紹介、市内公園マップなどを掲載しています。

# “イマドキ家族”の子育てを開催しました!

## 第一部講演

### 「笑ろてるパパママがええやん!」

樫 英直さん(ファザーリングジャパン関西副代表理事)  
さわらぎ ひろこさん(出産・育児ライター)夫妻



夫婦でビジョンを共有し、家族が笑えば人生が充実!

樫英直さんは、広告会社勤務の会社員。仕事中心の毎日を送っていましたが、子どもの誕生を機に、新聞にも取り上げられるほどの「イクメン」「カンタン」に変身。世に言う“良い夫”と思いきや、妻のひろこさんとはすれちがいが…。「これだけ家事育児をやっているのに妻は何が不満なんだ?」「なんで俺ばかり」と、いつのまにか笑ってないパパになっていました…。自身を振り返ってみて、「妻に対する気遣い」が欠けていたことに気づきます。これが根本にないと、いくらパパが家事育児に参加していても、ひとりよがりなものになってしまいます。そこで週に1回は夫婦飲み会をし、お互いの気持ちを確かめる場を設けました。“イマドキ”の子育てに必要なのは、男性の積極的な育児家事への参加だけでなく、**パパママがそれぞれ相手の気持ちを理解し尊重する**ということ。それが家族の笑顔につながり、人生そのものも充実していくということを夫婦で熱く語られました。

## 第二部 パネルディスカッション

### ◆パネリスト

朝原 宣治さん(北京五輪銅メダリスト)  
樫 英直さん(ファザーリングジャパン関西副代表理事)  
さわらぎ ひろこさん(出産・育児ライター)  
仲川 げん(奈良市長)



### ◆コーディネーター

中川 直子さん(ならどっとFM代表取締役)

第二部は、朝原さんと仲川市長も加わったパネルディスカッション。様々なテーマでお話頂きました。  
◎子どもにやさしい街は、全ての人が住みやすい街であるという概念がありますが、他人の子育ても自分のことと思えるような、そんな雰囲気の街を目指したいですね。(仲川市長)  
◎子どもを叱ったときでも、1日1回は子どもをハグして「大好き」と言うことを決めています。あとは、いつも笑っている親でありたいと思っています。(さわらぎひろこさん)  
◎子育てができるのは一瞬。「子どもとの時間」を確保することを何より大事にしています。そうした時間が親子の信頼関係につながっていくと考えています。(樫 英直さん)  
◎仕事柄、土日にイベントがはいることが多いので、そこに家族を連れて行って、例えばマラソン大会に参加させたりして、仕事だけれども家族との時間も同時に作るという工夫をしています。(朝原さん)

## SPECIAL GUEST 北京五輪400mリレー銅メダリストの朝原宣治さん!

朝原さんは現在3児のパパ。妻は、同じく五輪メダリストの奥野史子さん。2008年には、パートナー・オブ・ザ・イヤーをご夫婦で受賞されています。メダリスト夫婦の子育てと聞くとさぞかしスポーツの英才教育をされているのかなと思いきや、「自分たちの子どもをトップアスリートにしようという気はありません。もちろんそうなってくれたら嬉しいですが、**子どもたちの人生なので、子どもたち自身の意思を尊重したい**です。色々経験していく中で自立した人間になってもらいたいです。」と朝原さん。また、大阪ガスの社会貢献活動の一環として、子ども達の健全な成長を目指す陸上競技クラブも運営しておられます。

「トップアスリートを育てることも大事ですが、スポーツを通してたくさんの友達ができたり、**子どもたちにとっての居場所になるようなクラブにしていきたい**」と自身の想いを語られました。また、ご夫婦ともに第一線で活躍されながら子育てをしている朝原さん夫妻ですが、その陰にはおじいさん、おばあさんの協力がありました。ほとんど毎日見てもらっているようで、もしもこの協力が無ければ自分たちの家庭はなりたっていないとのこと。仕事も子育ても両立し、そして充実させるには、**当人たちの努力や工夫だけでなく、周りで支える人達の存在も重要である**と感じました。



子ども達には自立した人間になってもらいたいですね。

シンポジウムを終えて…

2時間のシンポジウムでしたが、終わってみればあっという間。講師、パネリストの皆さんに、ご自身の等身大の育児事情や失敗から学んだ教訓等をお話いただきました。それぞれの家庭にそれぞれの事情、やり方がありますが、やはり大切なことは、夫婦がともに相手を尊重すること、子育てについて対等に当事者意識を持つ事だと感じました。

# “あすなら市民講座”紹介

あすなら市民講座とは、女性団体や自主グループが奈良市男女共同参画センターと共催で開催する講座です。市民の皆さんから企画立案してもらうことで、より市民ニーズに合った事業を目指しています。

## 願いを叶える『脳』の作り方

～人生で輝くための3つの脳力～

講師:浦谷 裕樹さん  
(脳力研究家)

浦谷さんは、日本能力開発研究所で中高生以上対象の脳力トレーニングのトレーナーを務めつつ、トレーナーの指導、教材開発などにも携わっておられる脳の専門家です。男女の脳の違いとそれに伴う得意分野や思考の違い、そして、男女が協調するには「ほめる」ということが効果的であることなど、男女共同参画を「脳科学」の観点からお話頂くという斬新な講義でした。脳は、実際の経験と想像上の経験が区別できないので、イメージトレーニングが大切とのこと。「願いを叶える脳」を作るには、願いを叶えて自分も周りもハッピーになっている状況をイメージするのが良いと浦谷さんはおっしゃっていました。



奈良市あすなら起業の会 “やまとなでしこ”と共催!

## 平和と女性

出演:歌手 川本 三栄子さん(講談名 黄昏亭さくら)

歌手川本三栄子さんは、奈良の歴史を伝えたいと奈良講談を立ち上げ、各地で活動されています。そんな、川本さんに「平和と女性」と題したトーク&ライブを披露してもらいました。「光明皇后、千人の垢流し」は、貧しい人々のために法華寺「から風呂」を作り、皇后自らが背中の垢をきれいに流されるお話です。かの聖武天皇の妻としても有名な光明皇后ですが、大変慈悲深い女性であったと言われています。浪曲「長崎の鐘」は、原爆投下後の長崎で無傷の鐘が見つかったことから作られました。戦争は一人一人の心が引き起こすもの。命がけで子どもを産み、命の大切さを実感している女性に、もしも当時参政権があったならば、悲惨な戦争や原爆投下にはつながらなかったかもしれないと川本さんは熱く語られました。



奈良市地域婦人団体連絡協議会と共催!

これら以外にもたくさんの企画を提案していただき、平成25年度は、5団体と延べ10回のあすなら市民講座を開催することができました。今後も市民の皆さんと共に男女共同参画社会実現のためにさまざまな講座を開催していく予定です。